

私の南極物語 – その 10 –

山梨大学 生命環境学部環境科学科 教授
第 38 次日本南極地域観測隊越冬

竹内 智



専門はプラズマ物理、環境科学。プラズマ衝撃波による宇宙線加速や低炭素社会に向けた BDF（廃食用油から精製されるディーゼル燃料）の利活用に取り組む。越冬ではオーロラ観測に従事。

南極への夢とロマン

光り輝く自然の大パノラマと動物達の躍動する生命力を感じるのが南極の夏である。そして、極寒の暗夜を駆け巡る魅惑のオーロラは冬の南極の代名詞である。人を寄せつけない厳しさと未知へのあこがれが、人をして南極を「夢とロマンの大陸」と呼ばしめる由縁であろう。

▶ 児童たちの
夢とロマンが翻る
昭和基地



この夢とロマンを日本人として初めて実現したのが白瀬中尉である。18馬力の補助エンジンを搭載した木造機帆船「開南丸」に、予定していた物資を大幅に縮小し南極を目指した。

探検隊の中には、全国から選抜された猛者26人が参加した。南極探検隊後援会長は早稲田大学創設者の大隈重信公であった。国の補助は得られなかったものの市民の寄付金に支えられ、意気揚々とした船出となった。

明治43年11月、白瀬49歳の時であった。しかしながら、南極に到達するまでには幾多の困難を乗り越えなければならなかった。赤道通過時に暑さと病気で約半数のカラフト犬を失い、南極海で厚い海水に阻まれて最初のトライをあきらめ、翌年の再挑戦に備えオーストラリアのシドニーで1年間準備をし、やっとの思いで南極へたどり着いたのである。



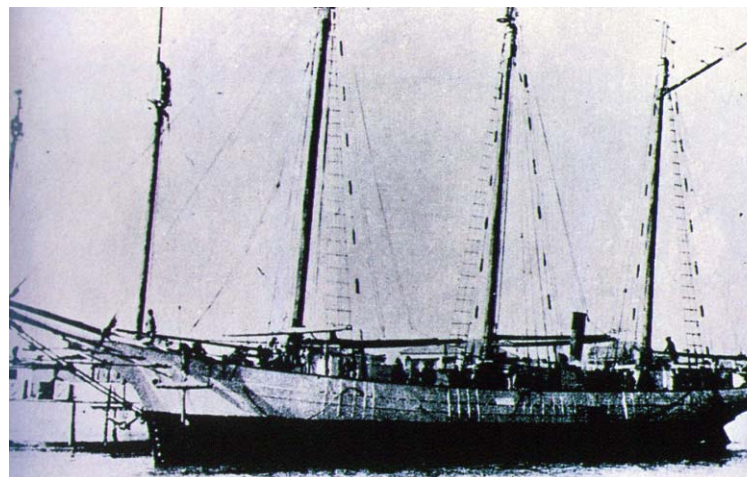
▲ カラフト犬の毛皮で作った防寒服に身を包んだ白瀬中尉
(白瀬南極探検隊記念館所蔵)

白瀬轟（しらせのぶ）：1861年（文久元年）秋田県金浦（このうら）村（現在にかほ市金浦）の浄蓮寺に生まれる。陸軍中尉。幼少時代から極地にあこがれ北極探検を志す。米国ペアリー隊に北極点を踏破されたため急遽方向転換し、南極点を目指すことになった。同時期に三人の探検家が南極点踏破を夢見ていた。ノルウエーのアムンゼン隊が最初に南極点を踏破し、その僅か一月後に英国の

白瀬隊は、二度目の挑戦で南緯80度05分、西経156度37分のロス棚氷まで到達し、その周辺を「大和雪原（やまとゆきはら）」と命名した。帰路ブリザードに遭遇し、20頭のカラフト犬を南極へ置き去りにせざるを得なかったが、全員無事に帰国。無謀ともいえるこの南極探検は、白瀬の未知なる大陸への熱き想いに支えられていたのである。

帰国後、白瀬はアムンゼンやスコットと肩を並べる探検家として讃えられはしたが、後半生は探検の借金返済に追われた生活だった。しかしながら、白瀬の南極への想いは、辞世の句に集約されている。

「我無くも必ず捜せ南極の地中の宝世に出だすまで」



▲ 白瀬隊の「開南丸」(全長30m、196トン)
白瀬南極探検隊記念館所蔵

スコット隊が極点に到着したが帰路ブリザードに出会い全員遭難死。白瀬隊は南極点まで到達できなかった。最終到達地点を「大和雪原（やまとゆきはら）」と命名し、その後全員無事に帰国。現在、にかほ市金浦にある「白瀬南極探検隊記念館」には、日本人として初めて南極を目指した白瀬隊の勇気ある行動が讃えられている。URL < <http://hyper.city.nikaho.akita.jp/shirase/> >

昭和31年、「宗谷」に始まった南極観測は「ふじ」を経て「しらせ」に引き継がれた。2代目「しらせ」が就航し、54年の歳月が流れた。その間に地球環境を理解する上で重要となる観測データの蓄積はもちろんのこと、観測精度も飛躍的に向上した。

先端技術を搭載した「しらせ」は、今後も観測隊と膨大な物資を昭和基地まで安全・正確に輸送し続けるだろう。

白瀬隊の「開南丸」とは比較しようもないほど豊かな技術と物資に支えられた観測隊は、南極についてどのような熱き想いを持ち続けることができるのだろうか。



▲ 昭和基地の海水上に 着岸した砕氷艦「しらせ」
(全長134m、1万6千t)

山梨大学附属小学校から昭和基地に届けられた旗が翻った。児童達の手作りの旗に一人ひとりの名前が黄色の文字で手書きされていた。

地球の未来を担う子供たちに、南極を通して地球環境を考えようと呼びかけたピーター・ワシロフスキー博士が提唱する「ブルーアイス計画」の一環として行われたものである。

児童達の夢とロマンを乗せた旗が南極の爽やかな風にはためいていた。

遥かなる夢をかなえて今ここに 白夜の風光ときめく心



▲ 山梨大学附属小学校から届けられた旗を手にして。
旗には「南極の自然を未来に残そう!」と記されていた
(昭和基地管理棟前)



▲ 光り輝く南極大陸の眺望、
大陸氷河が海にせり出している（右上）



▲ アデリーペンギンの子供たち
ー極寒の地でたくましく成長してゆくー

最終回（10 部作・完）